

鹿児島の植物⑨

野菊の雑種？

植物担当 大屋 哲

12月3日、南さつま市の秋目から黒瀬まで野菊を観察しました。シマカンギクやサツマノギクが満開でした。



サツマノギク

シマカンギク



サツマノギクとシマカンギクの雑種？

その中に「あれっ？」と思ったものがありました。それは、葉の裏がサツマノギクのように毛が多く、白色をしているのですが、花びらはシマカンギクよりもうすい黄色をしているのです。さらに、そばに咲いているサツマノギクやシマカンギクと比べてみると、葉の切れ込み方はシマカンギクに近いのですが、葉の大きさはサツマノギクとほぼ同じぐらいでした。染色体数を調べてみないとはいっきりとしたことは言えませんが、この地域はシマカンギクとサツマノギクの分布域が重なる所であること、花の色や葉の形などが両者の特徴をしめしていることから、雑種と考えられます。

野菊の仲間は雑種をつくりやすいと言われていますが、今回の観察で雑種と思われる野菊を前にして、改めて野菊の不思議さ、おもしろさを感じることができました。

鹿児島の動物⑨

オットンガエル

(アカガエル科)

脊椎動物担当 中間 弘

オットンガエルは、奄美大島と加計呂麻島だけに生息する固有種です。体長が14cmほどにもなる大型で丈夫な体型のカエルで、優に1mを超えるジャンプをします。丘陵地から山地にかけての森林内部と周辺の草地や耕作地に生息し、昆虫やミミズ、サワガニなどを食べます。繁殖期は4月下旬～8月ですが、7月が最盛期です。林道脇の側溝や砂防ダム、土砂の堆積した河原などに直径30cm、深さ5cmほどの穴を掘って産卵します。

鳴き声は「おうっ」とかなり大きく、聞こえようによっては「おいっ」とも聞こえるようです。

通常カエル類の前肢の指は4本ですが、日本ではオットンガエルと沖縄島、渡嘉敷島にすむホルストガエルの2種には本来の第1指である拇指があり、



他のカエル類とは大きく異なります。また、この拇指には棘状の骨があり、不用意に触れると刺されて怪我をすることがあります。

鹿児島県は、オットンガエルを平成17年4月に天然記念物に指定して保護に努めています。